

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

嫁・婿が語る酪農の魅力／ 堀川 拓生さん

監査室だより

東京ディズニーリゾートの マネジメントと監査

新入職員入会式
酪政連活動報告



酪農トピックス／

牛乳料理コンクール入賞作品を県庁食堂で提供（大阪）ほか
後継者支援チームの発足について
日本酪農見て歩紀（三重県大紀町 ^{そのへ} 菌部牧場）



5

2013 May No.572



全国酪農業協同組合連合会

脱サラして大農場のムコになって — 家族と牛に囲まれて —

5月の婿

(有)堀川ファーム 堀川 拓生さん

「婿が語る酪農の魅力」第13弾として、(有)堀川ファームの堀川 拓生さんにお話を伺いました。



婿が語る
酪農の魅力

13

牧場・地域概要

(有)堀川ファームは、十勝平野の南部、広尾郡大樹町振別地区にあります。振別地区は、十勝管内屈指の酪農地域です。

(有)堀川ファームは、日乳生産量約8tを出荷するメガファームでありながら、「共同経営」の形態をとらず、個人経営としては破格の経営規模を誇る牧場です。

(有)堀川ファームの所属する大樹町農業協同組合は、総農家戸数170戸、うち生乳出荷戸数103戸、生乳出荷量91,583t(平成24年度)となっています。



牧場入口

牧場の歴史とムコに入った経緯について教えてください。

会長(義父の要一さん)が高校を卒業し、酪農家実習を終了した当時は、畑作中心で牛を2〜3頭抱える酪農兼業農家でしたが、当時の規模としても畑の面積は決して広大ではなかったため、将来を見据え一大決心をして、酪農中心の経営に大きく舵をきったと聞いています。それから1977年、大樹町の中心部に近い振別地区に場所を移転し、同時に40頭規模のキング式牛舎を建てたのが(有)堀川ファームの近代化のはじめです。

私は、愛知県の出身で、北海道にある大学を卒業後、全酪連に就職。帯広事務所に配属され、南十勝地域を中心に推進業務をしていました。実績も伸びていたし、酪農家さんからの信頼もあったと思います。その後、酪農家さんから紹介を受け、妻と知り合い結婚しました。結婚式には多くの酪農家さんも来てくれ盛大な式になりました。この結婚を期に1998年に全酪連を退職して、牧場経営に参加しました。当

時は、圃場面積約80ha、搾乳牛頭

数80頭のつなぎ牛舎の規模でした。2003年

将来の規模拡大を見据え、育成舎にまで搾乳牛をつないで、約130頭の搾乳を開始しました。2004年には160頭規模のフリーストール牛舎建設、キング式牛舎を改修しアプレストパーラー化、2006年にロータリーパーラー建設、2007年に乾乳牛舎建設と、経営参加してから10年で飼養頭数を約3倍と急激に拡大し、毎日が必死でした。その後2008、2009年とフリーストール牛舎を建設し、搾乳牛頭数300頭を超えるメガファームの社長となりました。



牛舎全景

——サラリーマンから社長になって苦労したことはありますか？

急激に規模拡大をして苦労した点としては、人をつかう「労働力」で



拓生社長

す。(有)堀川ファームは個人経営方式をとっていますが、家族労働力だけでは、300頭を超える牛の管理は無理なので、7〜8名の外部雇用を行っています。当初は短期離職が続きましたが、日々求人を出すことができましたが、現在は長期間働いてくれる従業員の確保ができました。しかし、周辺の工場などと人材の取り合いになるなど、従業員の確保は永遠の課題です。労働力とともに重要なのが「自給粗飼料の確保」です。外部飼料購入費をいかに抑えるかが、これからの大きく変化していく酪農情勢に備えるためにも重要と捉え、規模拡大と

ともに、圃場の購入も進めています。デントコーン畑約40ha、牧草地約110haへと拡大しています。まだ十分な圃場面積とは言えず、また近隣にも優秀な酪農家が多数存在するため圃場の確保は難しく、面積確保とともに圃場が点在しているのも課題です。

(有)堀川ファームは、徹底した生産コスト管理を行うのと平行して、1頭あたりの年間平均乳量9,000kgと高水準を維持しており、この15年間大きな利益を上げました。この利益を背景に毎年のように大きな投資を行い、一気に規模拡大をして、現在の(有)堀川ファームの礎になっています。

——サラリーマンをしていたときのことで役に立ったことはありますか？

本州出身ですが、このあたりを推進エリアにしていたこともあり、就農後もすんなり土地勘が得られたこと。推進担当でしたので、農家さんとのつながりがあり、就農後助けてもらうなどの利点がありました。また、全酪連からの就農なので、サラリーマンのときに勉強していたことが、農場でも活かすことができたのは、もの凄くアドバンテージに感じています。



子ども達

——今後の目標はなんですか？

将来の事業継承に備えるための目標としては、より効率的な経営を確立することです。たとえば、現在は自家育成を行っています。手間と費用、飼料確保を考えた場合、育成牧場を効果的に利用する場合のシミュレーションをしたいと思っています。また、労働力の変動を考え、アウトソーシングできる作業の外部委託、コントラクター制度の利用についても検討の余地があります。また、病畜牛舎の管理が大変であり、その多くは蹄病と乳房炎です。蹄病については蹄浴の導入と削蹄で一定の効果が上がりました。乳房炎については、第一に正しい搾乳手順の確認、併せて自給粗飼料等の品質向上も不可欠であると感じています。

——「家族について教えてください。」

子供が5人おり、みんなスポーツが得意です。特にスピードスケートは、過去に年長の3人は全道大会に出場して、いずれも大会新記録で優勝しています。子供たちはみな、4〜5歳でスピードスケートを始め町内外の少年団に所属し、平日の放課後は、60km離れる帯広市にある屋内スピードスケート場「十勝オーバル」に練習に通い、週末は各地の大会を転戦しています。練習・大会には義父母が付き添ってくれています。他には、サッカーもやっており、よく牧場内でサッカーボールを蹴っています。

最後に

全酪連を退職されてから15年でメガファームの社長として大きな苦労や喜びがあったと思われま。家族に囲まれ、従業員に的確な指示を出して、牧場中心で活躍し続けている拓生社長。取材にも快諾していただいた偉大なる先輩でもあります。今後の(有)堀川ファームのますますのご発展をご祈念致します。この度はお忙しい中ありがとうございました。

東京ディズニーリゾートの

マネジメントと監査

東京ディズニーランドは先月15日、昭和58年の開園から30周年を迎えました。平成13年に開園した東京ディズニーシーと合わせた東京ディズニーリゾート全体の入場者数は、平成24年度2,750万2千人(前年比108.5%)と過去最高を記録し、開園以来の累計では5億6,769万4千人に上っています。運営会社の株式会社オリエンタルランド(注1)の業績も好調で、25年3月期の連結売上高は、過去最高の3,854億1千万円(前年比107.0%、平成25年1月30日発表)が予想されています。

驚異的なリピート率を誇り、今や、親・子・孫三代にわたって訪れるという集客力の源は何なのか。今回は、東京ディズニーリゾートのマネジメントを紹介することを通して監査について考えてみたいと思います。

マニユアル

東京ディズニーリゾートは、世界のディズニーパークの中で、精緻なマニユアルを一番忠実に実施していると言われています。公開されているわけではありませんが、例えば、次のようなものがあります。皆さんもお聞きになったことがあるかも知れません。

● チケットブース (入場券販売)

目的 あなたの仕事はチケットを売ることはありません。東京ディズニーランド(東京ディズニーシー)へおいでになったゲストと最初にコミュニケーションをとることです。

形 目と目を合せて

ニコリ笑って

ひとこと声をかける

注意 「いらっしゃいませ」とは言わないで

ください。例えば、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」などです。

なぜ「いらっしゃいませ」ではないのか。それは日本では「いらっしゃいませ」には誰も返事をしない習慣(デパート、銀行その他)になってしまっているからです。ゲストから返事をいただいている初めてコミュニケーションがとれたこととなります。

● カスターディアル (清掃)

目的 あなたの仕事は掃除をすることではありません。あなたはキャスト(俳優)としてお掃除というシヨウを演技することです。

形 お掃除というシヨウを演ずるので

すから、ちゃんと振り付けがあります。

だから、衣裳(コスチューム)を着けて

パークへ出る前に、バックヤードでちゃんと練習をして「お掃除という演

技」ができるようになっておかなければいけないのです。

世界のディズニーリゾート・ディズニーパークでは従業員のことを「キャスト」、入場客のことを「ゲスト」と呼ぶのですね。これは、「パークは巨大なステージであり、従業員はそのステージ上でそれぞれ配役された役割を演じるキャストである」というウォルト・ディズニーの考えに由来しているからで、そのため、ゲストが入れるエリアは「オン・ステージ」(舞台)、関係者専用区域を「バックステージ」(舞台裏・楽屋)、キャストが配属される各部署を「ロケーション」と呼ぶなど、映画・演劇用語が使われています。

注目すべきは、これらのマニユアルの「作業の目的」の表現の仕方です。「夢がかなう場所ー東京ディズニーリゾート」という理念を実現するための作業目的を明確に表現しています。これによって、キャストの意識は大きく違ってきます。よく画一的なマニユアル遵守の悪例として言われる、1人でハンパーガーを10個も20個も注文した客に対して「こちらでお召し上がりですか?」と聞くようなレベルの行動は東京ディズニーリゾートのキャストにはまず見られないと思います。そして、仕事の成果にも、ゲストに与える印象にも大きな違いが出てくることでしょう。(※1)

私たちの組織の中にある数々のマニユアル・作業基準書には、どのように作業の目的が記述されているでしょうか。

割れ窓理論

カストーディアルに限らず、全てのキャストはゴミを見つけたら直ちに清掃する、このことは、東京デイズニージーートを一度でも訪れた人はよくお分かりだと思えます。これは「1つのごみが全体を汚くする」という理念をウォルトが持っていたことによるものだと思います。このような考え方は「割れ窓理論」に通じるものと言えます。

割れ窓理論(Broken Windows Theory)とは、軽微な犯罪も徹底的に取り締まることで凶悪犯罪を含めた犯罪を抑止できるとする環境犯罪学上の理論で、アメリカの犯罪学者ジョージ・ケリングが考案したものです。「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがて他の窓もまもなく全て壊される」との考え方からこの名があります。

この理論を応用した事例として、アメリカ・ニューヨーク市の治安対策への取り組みが有名です。1994年、治安回復を公約に当選したルドルフ・ジュリアーニ市長が、この理論の考案者ジョージ・ケリングを顧問として治安対策に乗り出し、5年間で殺人が67.5%、強盗が54.2%、婦女暴行が27.4%減少したとされています。(ただし、この犯罪率の減少は、他の要因によるものであるとの批判も多いようですが。)

日本でもこの理論を応用した治安改善

事例として、札幌中央署が駐車違反の徹底的取締りと地域ボランティアの協力による街頭パトロールの強化などに取り組んだ事例や、東京都足立区が「ビューティフル・ウインドウズ運動」と称し取り組んだ事例などが知られています。

ビジネスにおける適用例として挙げられるのが、東京デイズニージーート・東京デイズニージーートとアメリカの高級デパートチェーン「ノードストローム」(注2)の例です。

東京デイズニージーート・東京デイズニージーートでは、パーク内のささいな傷をおろそかにせず、ペンキの塗り直し等の修繕を惜しみなく夜間に頻繁に行っていること、ノードストロームでは、「割れ窓」の対極と言える「ピアノの生演奏」を顧客に提供していること、これらの取り組みがビジネスの成果につながっていると言われています。(※2)

では、この「割れ窓理論」は、私たちのような組織に活用できるのでしょうか。トーマツイノベーションの白濁敏朗氏は、「シンプルしかけ・割れ窓チェックリスト」に次のようなチェック項目を掲げています。

- ① 職場で社員同士が挨拶しない
- ② 会議が定刻に始まらない
- ③ 提出物が納期どおり集まらない
- ④ コピー機の上に印刷された紙が残っている
- ⑤ ホワイトボードの消し忘れがある
- ⑥ パソコンの消し忘れがある
- ⑦ 机の上が乱雑なまま帰宅している

- ⑧ 電灯や空調の消し忘れがある
- ⑨ 傘立てに傘が乱雑に置かれている
- ⑩ トイレが汚れていることがある

このような「割れ窓理論」の活動でしたら、私たちのような組織でもできそうです。

行動規準

世界のデイズニージーートパークでは、キャストのための判断や行動のよりどころとなる世界共通の行動基準が定められています。ウェブサイトで公開されていますので、こちらをご覧ください。
<http://www.ole.co.jp/csr/safety/scse.html>

この行動基準の優れたところは、内容もさることながら、優先順位をはっきりと分かりやすく示していることにあると思います。私たちの組織は、優先順位が従業員にはつきりと分かるような形で行動基準を定めているでしょうか。

監査の役割

東京デイズニージーートにおけるマネジメントの様々な手法を見て気が付くのは、成果を出せるかどうかのキーを握っているのはやはり「人」であるということです。「人」がよく働き、顧客に満足を提供する仕組み、それがマネジメントであると言えます。

そのような「人」を意識したマネジメントが行われているか、監査においても十分に見ていきたいものです。

(注1) 株オリエンタルランドは、アメリカのウォルト・デイズニー・カンパニー社とのライセンス

契約により東京デイズニージーート・東京デイズニージーートを中心とする東京デイズニージーートを経営・運営する事業持株会社です。しかし、東京デイズニージーートのために設立された会社かということではありません。同社は、昭和35年、千葉県浦安沖の海面を埋め立てて商住地域の開発と大レジャーランドの建設を行うことを目的として、京成電鉄と三井不動産が中心となつて設立された会社でした。同社がアメリカのデイズニージーートと誘致の交渉を開始したのは昭和49年のことであり、業務提携契約を取り交わしたのは昭和54年4月のことでした。(※3)

また、この浦安沖の埋立地が「舞浜」と名付けられたのは昭和50年11月のことです。アメリカのウォルトデイズニージーートのあるフロリダ州オーランドにちなみ、同じフロリダ州の有名なリゾート地・マイアミ海岸の名から「舞浜」と名付けたとされています。(※4)

(注2) ノードストロームは、高レベルの顧客満足を提供する高級デパートで、「販売していないアイテムの返品を受け付けた」とか「ホームレスの女性に試着を勧めた」といった、伝説のサービスで知られています。

(参考文献・資料)
※1 「感動すれば人はもう一度感動したくなる 東京デイズニージーートのマニュアルの話」
マセヒューマンテクノサービス 間瀬誠
<http://www.dion.ne.jp/~maseh/s/mahis/kou9606.html>

※2 「割れ窓理論」(フリー百科事典「ウィキペディア」)
<http://ja.wikipedia.org/wiki/割れ窓理論>

※3 「オリエンタルランド」(フリー百科事典「ウィキペディア」)
<http://ja.wikipedia.org/wiki/オリエンタルランド>

※4 「舞浜」(フリー百科事典「ウィキペディア」)
<http://ja.wikipedia.org/wiki/舞浜>

札幌
支所発

都築岳志さん・浦好恵さんが代表に決定！ — 第41回 北海道酪農経営発表大会 —

3月28日(休)、札幌市「京王プラザホテル札幌」にて、北海道酪農青年女性会議（引頭玉枝委員長）主催の第41回酪農経営発表大会が開催され、全道より関係者合わせて59名が参加しました。

今回は経営部門に八雲町の都築岳志氏「ゆとりを大切に、放牧しながら高泌乳を目指す」が、意見・



▲ 都築岳志さん(経営の部)

体験部門に鶴居村の増田一真氏「3年B組新米先生!! ~日本を育てる牛乳づくり~」と美瑛町の浦好恵氏「ベストパートナーとして」の2名がそれぞれ発表しました。

経営部門の都築氏は、北海道最古の酪農地である八雲町で牧場経営をしており、放牧を主体に確かな飼養管理を行う堅実な経営を発表しました。

意見・体験部門では、まず、前職は学校教員という珍しい経歴を持つ増田氏が、就農までの経緯を語りました。教師とし



▲ 浦好恵さん(意見・体験の部)



▲ 授賞式

での夢を抱いていた増田氏は、とあるきっかけでご両親の跡を継ぎ、今は新米酪農家として勉強中です。勝手の違う世界で苦労はありますが、ご両親や共進会で知り合った先輩の指導のもと、良い牛を仕上げようと奮闘されています。

次に、浦氏はバイクツーリングで訪れた北海道にほれ込み、移住を決意。そこで運命的な出会いをしたご主人と結婚し酪農家となりました。4人のお子さんの世話や子牛の哺乳作業などを務め、持ち前の行動力と前向きな姿勢で、ご主人を支えておられます。

審査の結果、経営部門では飼養管理や圍場管理の工夫、北海道平均よりも短い分娩間隔が高く評価され都築氏が北海道代表として推薦されました。意見・体験部門では、目標と夢の実現性でより実績のあるという部分で、浦氏が北海道代表として選出されました。

都築氏と浦氏は7月に熊本で開かれる全国酪農青年女性酪農発表大会へ出場、発表します。



▲ 意見交換会(左から浦さん・増田さん・都築さん)

(T.K)

仙台
支所発

酪農チビッ子勉強村開催される — 東北酪農青年婦人会議 —

3月26日(火)～29日(金)の4日間、東北酪農青年婦人会議(半澤善幸委員長)主催の「酪農チビッ子勉強村」が開催されました。

この催しは、東北酪農青年婦人会議と渋谷区少年団体連盟(鈴木貴代子会長)との交流事業のひとつとして、東北の酪農家の子供達が東京・渋谷区の地元子供会(渋谷区少年団体連盟)の家庭へ宿泊し交流を深めるとともに、日本の政治経済の中心地である大都市・東京での生活を体験することにより、見聞を広め、都市と農村の役割を知り、相互理解を深めることを目的として毎年開催されています。

30回目となった今回は、宮城県より4名の参加



▲ 対面式

となりましたが、受入家庭の前田さんと面識もあった(昨年の夏、前田さん兄妹が廣谷さんと佐藤さんの家で受け入れて貰っていた)ため、渋谷区役所に到着したすぐの対面式にも緊張の色もなく、隣のNHKを見学してきた後は、明るい笑顔で戻って来ました。その後、受け入れ家庭に分かれて過ごした2日間も、水族館やスカイツリーに行ったりと、渋谷区で設定していただいたプログラムも順調に終了し、「代々木オリンピックセンター」(3泊目)に集ったときには、満開になった都会の桜に負けられないような満面の笑顔が見られました。

短い期間ではありましたが、都会の生活、そして都会の子供達との交流は、4名にとって楽しい思い出となったようで、「来年もまた来ようね」と話していました。事務局としては、今年も無事に終わったという思いと共に、これもひとえに、渋谷区の役員皆様様のやさしい心遣いと長い交流の賜物と感謝しております。

(N.T)



▲ 渋谷区少団連の人達との集合写真



▲ NHKにて



▲ 3月29日の朝

仙台
支所発

東北代表は橋本あきさん・佐藤みゆきさんに決定！ — 第42回東北酪農発表大会 —

3月21日(休)～22日(金)の2日間、東北酪農青年婦人会議(半澤善幸委員長)主催による第42回酪農発表大会が福島県福島市飯坂町湯野の「吉川屋」で124名の酪友が参加して盛大に開催されました。

大会は一戸智副委員長の開会宣言の後、参加者全員で統一綱領を唱和し幕を開けました。

半澤委員長の主催者挨拶に続いて、来賓の農林水産省東北農政局生産部長 丸山恵史氏(代読 畜産課長 伊藤雅敏氏)、福島県農林部長 畠利行氏(代読主任主査 矢内清恭氏)と福島県酪農業協同組合 代表理事組合長 但野忠義氏からご祝辞を頂きました。

経営発表では、『地域と共に歩む酪農～夫婦で歩んだ40年～』と題して、橋本あきさん(福島県酪農青年研究連盟)が発表しました。審査講評(審査委員長：東北農政局畜産課長 伊藤雅敏)では、原発事故で自給粗飼料が給与できない状況の中で、乳量・乳質を震災前の水準まで高め、地域の仲間と設立した自給飼料生産組合や機械利用組合で、ロールベールやWCS生産に取り組む、飼料循環型酪農が確立されている点が評価され、農林水産省東北農政局長賞が授与されました。



▲ 伊藤雅敏畜産課長

また、意見・体験の部では、佐藤みゆきさん(宮酪青年婦人

連絡協議会)、今泉洋さん(福島県酪農青年研究連盟)、齋藤健さん(岩手中央酪農青年婦人会議)、山口洋介さん(山形県酪農青年婦人会議)の4名が発表しました。発表者の中には、酪農の職人を目指す人や有機資源の地域循環への取り組み等色々な発表がありましたが、各会議代表による審査の結果、『平成23年からの復活～きずな～』と題して、震災・火災を乗り越えての酪農再開の喜びと地域の仲間との交流を話された佐藤みゆきさんが最優秀賞を受賞されました。



▲ 福島県 橋本あきさん(経営の部)



▲ 宮城県 佐藤みゆきさん(意見・体験の部)

また、意見・体験の部では、佐藤みゆきさん(宮酪青年婦人連絡協議会)、今泉洋さん(福島県酪農青年研究連盟)、齋藤健さん(岩手中央酪農青年婦人会議)、山口洋介さん(山形県酪農青年婦人会議)の4名が発表しました。発表者の中には、酪農の職人を目指す人や有機資源の地域循環への取り組み等色々な発表がありましたが、各会議代表による審査の結果、『平成23年からの復活～きずな～』と題して、震災・火災を乗り越えての酪農再開の喜びと地域の仲間との交流を話された佐藤みゆきさんが最優秀賞を受賞されました。

懇親会では、福島県酪農婦人部やまびご会によるフラダンスが披露され、その後参加者全員で踊りました。

(N.T)



▲ 福島県酪農婦人部やまびご会によるフラダンス

東京
支所発

宮澤智浩さん・柳澤聡さんが全国大会へ！ — 第42回 関東甲信越酪農発表大会 —

3月26日(火)・27日(水)の2日間、第42回関東甲信越酪農青年女性会議酪農発表大会が茨城県五浦温泉「五浦観光ホテル」にて開催され、酪農家および関係者、約160人の参加を得て盛大に開催されました。

大会は主催者の関東甲信越酪農青年女性会議 野村栄一委員長の開会挨拶に続き、来賓の農林水産省 関東農政局生産部畜産課長 林政彦氏、茨城県農林水産部畜産課技佐 浅野博之氏、地元の茨城県酪農業協同組合連合会 大槻和夫代表理事会長にご挨拶を頂きました。

今回の発表者は、経営発表部門では、栃木県酪農青年女性会議より渡邊喜夫氏の「コスト削減とカウコンフォート改善をめざして」、茨城県酪農青年女性会議より宮澤智浩氏の「ゆとりあるカウコンフォートをめざして～牛のゆとり・人のゆとり・経営のゆとり～」が発表されました。

そして、意見・体験部門では、埼玉県酪農青年女性会議より亀田光子氏「私は主人の応援団」、長野県酪農青年女性会議より柳澤聡氏「牛に導かれ 人に支えられて」、栃木県酪農青年女性会議より細島和則氏「はじめの一步～地域酪農との共存～」が発表され、合計5人となりました。

発表者の方々は、これまでの経営成果と経営の特徴、独自の取組み・体験などについて、緊張感を漂わせながらも毎日を楽しみつつ酪農に対する熱い思いを込めて発表されていました。



▲ 野村委員長開会挨拶



▲ 林審査委員長による審査講評



▲ 発表大会風景



▲ 茨城県 宮澤さん(経営:右)と長野県 柳澤さん(意見・体験:左) 審査委員長の関東農政局 林課長が審査講評で「発表された2名は、それぞれに立地条件、経営規模も異なる経営であり、本来であれば比較することや優劣をつけること自体がためらわれる審査でありましたが、それぞれ将来の目標あるいは夢を持ちながら、作業の効率化・低コスト化に積極的に取組み、経営安定と収益性の確保のために日々努力されており

ます。収益の追及は大事なことです、牛に優しい経営にも配慮した経営を目指しておられるなというのが共通した特徴でした。また、組合・地域活動にも積極的に参加されるなど地域社会との調和や貢献にもご尽力いただくなど、審査員一同感銘を受けました。2人ともすばらしい内容の発表でまさに審査員泣かせというところではあります」と述べられました。

その中で、「3つのゆとりをもった夢のもてる、みんな(周り)に夢を分け与える酪農経営」を目指して頑張っている茨城県の宮澤智浩氏が最優秀者に選出されました。

また、意見・体験発表の部では審査員を務めた関東甲信酪青女委員を代表して野村委員長より、「発表された3名は、どのかたも個性的ですばらしい発表内容でした。審査についても非常に議論し時間を要してしまいました。その結果、非農家からの就農という状況の中、酪農に対する思い、熱心さが感じられること、また、酪農家を志す人の手助けとなる夢を持っていることなどが評価され柳澤聡氏を最優秀とすることといたしました」と講評があり、長野県の柳澤聡氏が全国大会に推薦されました。

宮澤氏、柳澤氏は、7月11日(木)・12日(金)に熊本市で行われる第42回全国酪農青年女性酪農発表大会に関東甲信越酪農青年女性会議代表として参加することになり、大会参加者から大きな祝福と声援を受けました。(S.T)

名古屋
支所発

中部代表は桑原卓也さん・佐々木千尋さんに決定！ — 第42回中部酪農発表大会 —

3月19日(火)～20日(水)に中部酪農青年女性会議(大井幸男委員長)主催の第42回中部酪農青年女性酪農発表大会が「館山寺サゴロイヤルホテル」(静岡県浜松市)において130名の酪友が参加し盛大に開催されました。

大会は久保田豊副委員長の開会宣言の後、参加者全員で統一綱領を唱和し幕を開けました。大井委員長の主催者挨拶に続いて、来賓の農林水産省東海農



▲ 静岡県 桑原卓也さん
(経営の部)

政局生産部 堀田仁一畜産課長、静岡県西部家畜保健衛生所 加藤雅通所長、富士開拓農業協同組合 村澤英男代表理事組合長からの挨拶がありました。

経営発表の部は、『体も心もバランスよく継続できる酪農経営～フリーストール牛舎建設、TMR給与で省力楽農～』と題した桑原卓也さん(静岡県)の1名だけではありませんでしたが、優秀な経営内容が発表され最優秀賞に選出されました。



▲ 静岡県 佐々木千尋さん
(意見・体験の部)

意見・体験発表の部では、榎原政己さん(愛知



▲ 大会風景



▲ 懇親会

県)、小塩和也さん(岐阜県)、佐々木千尋さん(静岡県)の3名が、会場の参加者が感動し、共感できる意見や体験を発表しました。

審査は、各県会議より推薦された酪農家18名の審査員によって行われ、審査の結果、『お父さん働きすぎじゃない～私にできた小さな改革～』と題した佐々木千尋さんが最優秀賞に選出されました。



▲ 発表者への質疑応答

大会終了後の懇親会では、三味線グループ「輪」の演奏や中部酪農青年女性会議役員有志による歌とダンス、そして恒例となったお楽しみ抽選会等、盛り沢山の余興で盛り上がり、酪友相互の懇親を深めました。

なお、桑原さんと佐々木さんは7月11日(木)～12日(金)に熊本市で開催される全国酪農青年女性会議主催の第42回全国酪農発表大会に中部代表として発表します。(O.M)

大阪
支所発

第32回ひろらくB&Wショウ開催！

開催日時：平成25年3月24日(日)10時～15時

開催場所：全農広島県本部三次家畜市場

広酪ホルスタイン改良同志会（和田慎吾会長）は第32回ひろらくB&Wショウを開催し、会員より18頭（21頭予定3頭欠場）の出品がありました。審査員は(株)十勝家畜人工授精所代表取締役の吉川広司氏に審査いただきました。

今回は新たな取り組みとして、広酪メンバーズクラブに協力を要請し、より多くの参加者が集まるよう呼びかけました。メンバーズクラブ、出品者、関係団体の家族連れを含め約100名の参加がありました。

また、吉川氏よりグランドチャンピオンに決定した決め手やポイントを詳しく解説いただく時間を設け、「まず牛の顔を見て、顔の長さ、あごの引き具合、前方から見える胸幅を確認する。それから背中が曲がっていないか、坐骨、腰角、肛門、寛の位置、蹄の角度を見ていく。今回未経産グランドチャンピオンを決定するポイントとなったのは、蹄の角度。毛刈りを牛の体型に合わせて長さを調整すればなお良い。経産グランドチャンピオンは乳房の付着具合、寛の位置。ただし、乳頭や乳房付着の改善点あり」等のお話をいただきました。参加者も熱心に



▲ 昼食風景

話を聞き、数点質疑応答もあり、有意義な時間となりました。（広酪）

審査結果は以下の通りです。

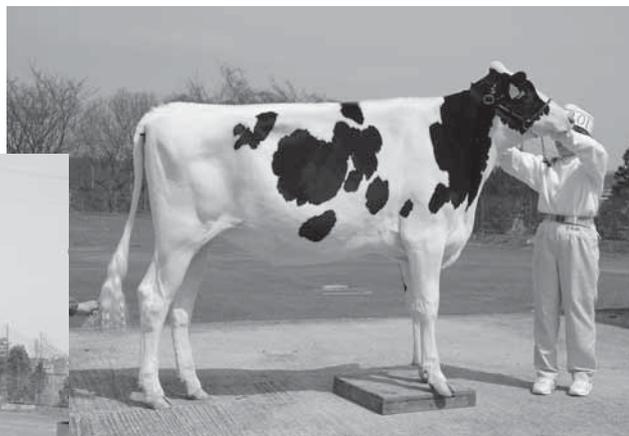
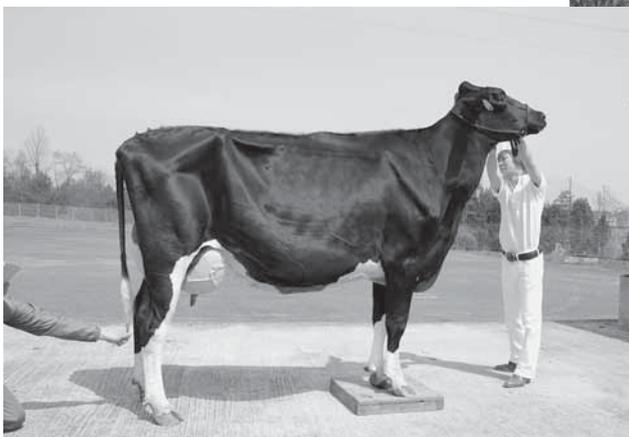
◎未経産グランドチャンピオン

4部 サイ アルフレッド シフオン マリア
登録番号 1254216391 H23.11.09生
西条農業高校 保有牛

◎経産グランドチャンピオン

6部 HDK ジョーダン ロウ
登録番号 1260590331 H21.08.08生
ひだり 檜高侑祐氏 保有牛

未経産グランドチャンピオン ▶



◀ 経産グランドチャンピオン

大阪
支所発

牛乳料理コンクール入賞作品を 県庁食堂で提供

3月25日(月)から3日間、岡山県酪農乳業協会(東山基会長)主催の平成24年度牛乳料理コンクールで入賞作品に選ばれた料理が岡山県庁食堂で提供されました。このコンクールは、毎年牛乳・乳製品の消費拡大を図る目的で開催し、今回は応募総数443点から10作品の入賞者を表彰しています。この企画の中で、入賞者と伊原木県知事が料理作品を試食しながら、作品を作り上げた思いや苦労した点などを話し合い、また将来の目標等を語りあうという初の



▲ 最優秀賞の池上さんと試食する伊原木知事

試みもあり、楽しいひと時を過ごしました。同協会の岡田理事と県庁の若田畜産課長が、酪農の直面している課題、県内の生乳生産の状況並びに生産者が安全安心を実現している

努力を説明し、更なる県内産の牛乳等の消費拡大に向け生処販が連帯して取り組む決意を述べられました。

提供された料理は、最優秀賞「ミルクスープのつけ麺」、優秀賞「トマト、クリームチーズのかさねデザート」並びに優良賞「牛乳の納豆味噌汁」(定食の汁物)3品でした。試食した知事は、「どれも牛乳がうまく生かされて、おいしかった」と感想を述べていました。



▲ 入賞者と伊原木知事



▲ 紹介メニュー

(S.T)

全酪連2013年のニューフェイス!

4月1日(月)、全酪連本所(東京都港区)において平成25年度新入職員入会式が行われ、今年度は、大学・大学院卒業が17名、高校卒業が2名入会しました。これからよろしくお願いたします。





▲ 涉さんと守さん

No.240
菌部牧場
 三重県大紀町

山間地での酪農経営

— 地域稲作農家と連携した酪農経営 —

地域の紹介

今回ご紹介する菌部牧場は、三重県度会郡大紀町にあります。大紀町は三重県中南部に位置し、2005年(平成17年)に大宮、紀勢の2町と大内山村が合併して誕生した町で、町域の91%を山林が占めています。

集落や耕地は宮川・藤川・大内山川の流域に点在し、スギ・ヒノキなどの林業、シイタケ栽培、そして大内山牛乳として知られる酪農や肉用牛の肥育などが盛んな地域です。



大内山酪農協 田中酪農部長とともに

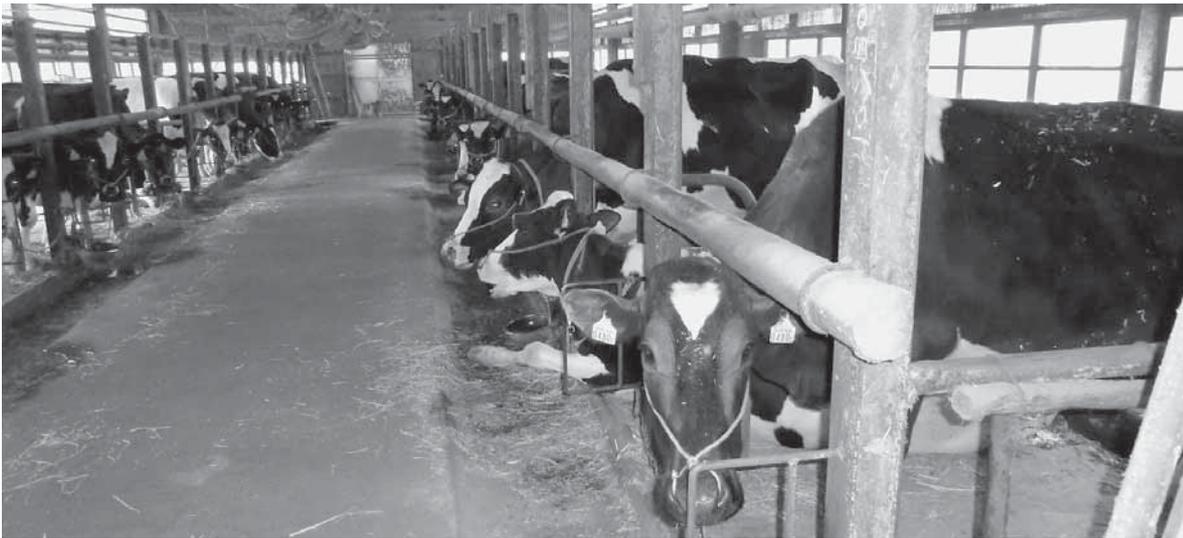


菌部牧場が所属する大内山酪農農業協同組合(谷川原万欣代表理事組合長)は、酪農家戸数34戸(平成25年4月現在)、24年度の生乳生産量は33,323t、乳業プラントを持ち、「大内山牛乳」として販売しています。

経営概況

菌部牧場は、紀勢自動車道紀勢大内山インターからもさほど遠くない所に位置し、自宅も牛舎のすぐそばにあります。

経営主の守さん(51歳)は、酪農経営を引き継ぎ3年ほどが経過しています。守さんの家族は長女の佑理菜さん(25歳)、次女の佑依さん(23歳)、お父さんの涉さん(81歳)、お母さんの千秋さん(76歳)の5人家族で、2人の娘さんは会社に勤めているため、牧場の仕事は守さんとお父さんの2人で従事しています。



牛舎内

酪農の概況は、飼養頭数27頭(経産牛26頭、未経産1頭)であり、育成牛は預託事業を利用して、現在3頭を



牛舎全景

北海道に預託しています。年間生産乳量は180・8t(24年度)、3月の乳成分は乳脂肪4・14%、SNF 8・60%で、体細胞は平均22万とのことです。
牛舎はパイプライン方式の32頭の対頭式繋ぎ牛舎で、搾乳はミルカー4台で作業をしています。役割分担は、守さんが搾乳・飼料給与・堆肥処理を担当し、涉さんが搾乳・飼料給与等の補助作業をしています。

糞尿は堆肥舎に仮置きし、その後近隣酪農家(3戸)とともに共同堆肥施設に持ち込みます。守さんは堆肥処理作業全般を担当し、完熟堆肥は近郊の稲作農家・野菜農家等20戸ほどにダンブで運搬(20回/月)し販売もしています。守さんの堆肥はこれまで利用している農家からの評判も良く、口コミで堆肥の電話注文も多くなったことから、間に合わない時期もあるとのこと。

また、守さんは自家用米として8反ほど耕作していますが、稲作農家の委託作業を受けたり、苗の販売も行っています。自給飼料生産は、現在はソルガムを20aほど栽培するのみですが、5〜6年前まではイタリアン・ソルガム等のサイレージづくりもしていたそうです。

牧場の歩み

菌部牧場の酪農の歩みは、祖父の時代に農耕用の家畜として牛を導入し、昭和20年頃にお父さんの涉さんが数頭の牛を導入し大内山の地で酪農を始めたのが始まりでした。守さんは高校卒業後、酪農を始め多くの経験をしてきました。そして昭和53年に現在の牛舎が建設されました。当時は減産計画の状況下で厳しい酪農環境もありましたが、涉さんとの二人三脚での酪農経営が始まり現在に至っています。

飼養管理

守さんの飼養管理方法はシンプルなものです。メニューは本会配合飼料購入粗飼料のスターダン、クレイングラス等と添加剤で、1日5回給餌します。1頭1頭給与するため時間はかかりますが、個体管理がしやすくなり、牛の管理も上手くいくそうです。これも守さんとお父さんとの二人三脚だからこそその飼養管理だと感じました。



パーラー室



飼料タンク

菌部牧場を引継いで牧場の色々な問題に気付いたそうです。守さん

今後の課題

守さんは健康管理の一つとして牛乳を毎日飲むことを心がけています。この話は私も含めた一般消費者の皆さんにも、ぜひ聞いていただきたいものだとして強く感じました。

地域活動と余暇

守さんは青年部の活動である視察研修会や講習会等(年間2回以上開催)に積極的に参加し、新しい酪農技術等の研鑽も疎かにはしていません。また、ヘルパーの利用については、毎月2回以上は利用するように心がけ、自由な時間をできるだけ有効利用しているとのことでした。



機械倉庫

に今後の目標について伺ったところ、「現在の頭数を維持しながら、これからも地域の稲作農家・野菜農家へ堆肥供給する循環型酪農を経営の柱に置いた、安定した酪農を継続したい」と強く話されていました。また、守さんは、「適齢期を迎えているお2人の娘さんに早く良きパートナーが見つかり、できれば菌部牧場を継続させてもらえれば嬉しいが、どうなるか…」ともおっしゃっていました。お父さんが築いた循環型酪農を受け継ぎ安定的に継続することが、守さんの今後の課題だと感じました。最後に菌部牧場の今後のますますの発展をお祈りしつつ、今回の取材を終えました。

後継者支援チームの発足について

全酪連では4月1日より「後継者支援チーム(仮称)」を発足させました。

規模拡大をはじめとする今後の牧場経営について相談を希望している後継者や、自牧場の経営や酪農情勢に不安を感じていて、後継に際し悩みを抱えている後継者の方々を主な対象に、相談に応じて解決策を模索し、共に課題を克服していくことを目指します。

本会の砂金会長からは、「酪農生産基盤の維持拡大という本会が提示した長期ビジョンの中核を占める取り組みとして位置付けたい。全国の酪農生産者の期待に応えるべく、事業を軌道に乗せてほしい」との言葉がよせられました。

活動の第一歩として、まずは会員と本会にて選定させていただいた酪農家を対象に、支援を開始します。その中でデータを蓄積し、ノウハウを確立させた上で、更なる活動の充実と体制の整備に努めていき、折りに触れこの紙面にて事業の紹介をしていく予定です。

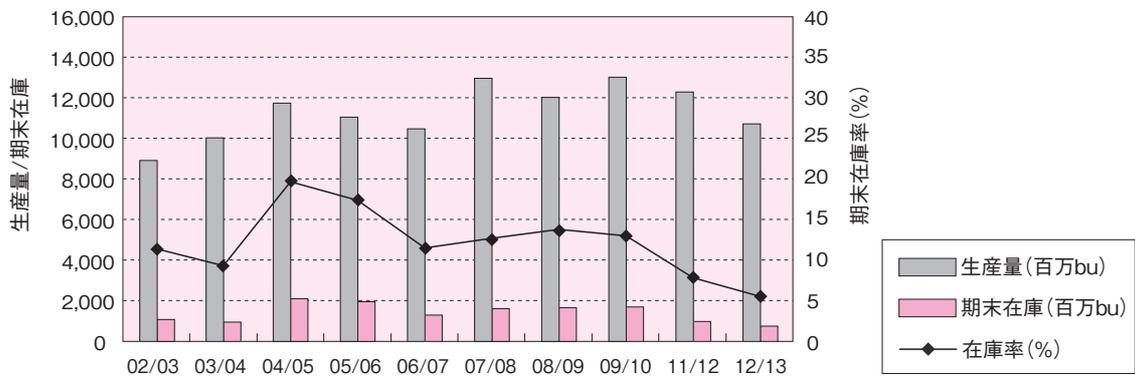
なお当活動についてのお問い合わせは、最寄りの支所指導組織課までお願いします。



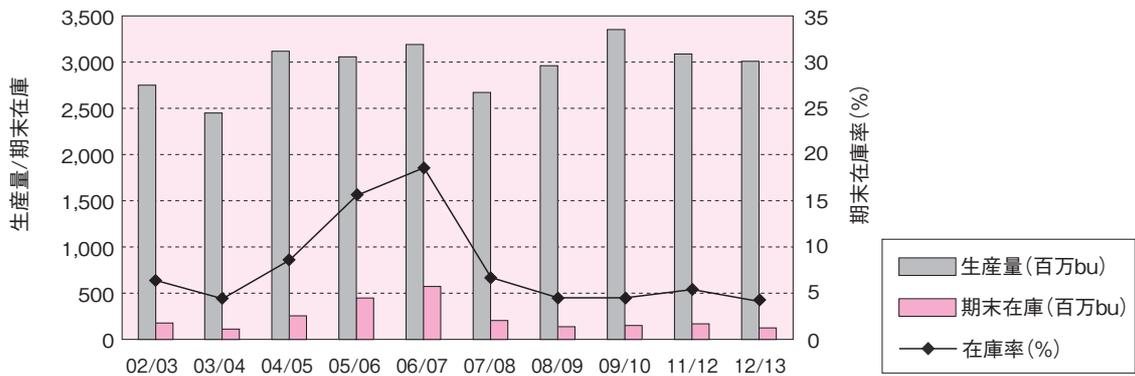
原料情勢 平成25年4月

<p>4月10日発表 米国農務省トウモロコシ 需給予想</p>	<p>【11/12年産】 作付面積91.9百万(前月91.9百万) エーカー、単収147.2(147.2) bu/エーカー、生産量123億6,000万(123億6,000万) bu、総需要量125億2,700万(125億2,700万) bu、期末在庫9億8,900万(9億8,900万) bu、在庫率7.9(7.9) %。</p> <p>【12/13年産】 作付面積97.2百万(前月97.2百万) エーカー、単収123.4(123.4) bu/エーカー、生産量107億8,000万(107億8,000万) bu、総需要量111億3,700万(112億6,200万) bu、期末在庫7億5,700万(6億3,200万) bu、在庫率6.8(5.6) %。</p>
<p>トウモロコシ相場動向</p>	<p>3月は、エタノール生産量に回復の兆しが見られることなどから730¢台まで上昇したが、米国農務省の四半期在庫統計(3月1日時点の全米在庫)が予想を大幅に上回ったことから一時期は630¢を割り込んだ。現在は投機筋による調整買いにより650¢台まで値を戻している。今後のシカゴ相場は、主産地の米国中西部の作付状況が今後の相場を左右する展開となる。現在、現地では低温多雨が続き、作付の遅れが懸念されている。また南米(特にブラジル)における船積み遅延も発生しており、相場の上昇に注意を払う必要がある。</p>
<p>国内産大豆粕</p>	<p>米国産大豆需給予想の12/13年の期末在庫見通しは1億2,500万(1億2,500万) bu、在庫率4.1(4.1) %。期末在庫に変化はなかったが、南米の豊作が確定的であるため1,400¢を割り込む値動きとなっている。国産大豆粕発生量は大豆搾油採算の改善により増える可能性が高いが以前の水準と比較すると低調なままである。しかし、需要は比較的安定しており、需給バランスはそれほど崩れてはいない。輸入大豆粕はEU、中近東、東南アジア等の需要が旺盛なことから現地価格がほとんど下がっていない。今後は為替の影響が大きく、上にも下にも動く可能性がある。</p>
<p>糖種類</p>	<p>フスマの発生量は小麦粉の価格改定の影響から若干増加する見込み。需給は使用量が回復していないことや輸入品の入船により一時期より改善したが、輸入品が割高であり今後の入船が不透明であることから注意が必要。グルテンフィードは増加傾向にあり、需要も安定しているため、需給バランスは適正水準。しかし、輸入品が割高であり今後の入船が減少する可能性があることや、フスマの代替で使用量が増える可能性もあり、注意が必要。</p>
<p>海上運賃</p>	<p>石炭などの需要が活発でないことから小康状態にあるが、南米における港湾のインフラなどの問題から滞船が深刻化しており、上昇の余地を残す様相。原油市場はキプロス情勢の鎮静化の兆しに伴い若干上昇気味であったが、米国の経済指標が良好でないことから弱含みの展開になりつつある。</p>

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成25年4月

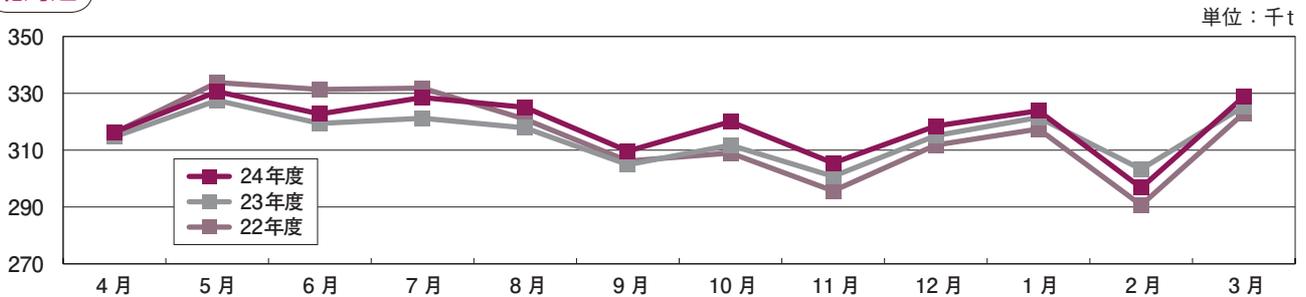
北米コンテナ船 フレート	4月1日付けのGRI(基礎レート) \$200 値上げは、大半が延期としているが、一部の船会社で実施している模様。各船会社とも、世界的な不況を背景にコンテナ部門の採算悪化が続いている。需給バランスが崩れることを懸念して、海上運賃の大幅な値上げには踏み切れない一方で、自社で負担していた様々なサービスを停止しようと顧客へ求めてくる船会社が増えている。輸出(米国)側では、シャーシの無料貸出を停止する船会社が増えつつある。PNWでは輸入量が輸出量に追いつかず、PSWでは中国の旧正月の影響で中国にコンテナが留まっていることから、空コンテナが不足している模様。
ビートパルプ	【米国产】主産地のミネソタ州とノースダコタ州では製糖作業が行われており、遅い工場では5月中旬までかかる見込み。例年であれば、早い地域では作付が始まる時期だが、今年は積雪の多さから作付が遅れてスタートすることが予想されている。砂糖の相場価格が低調に推移していることから、13年産作付面積、生産量は減少することが予想されている。
アルファルファ ヘイ	【ワシントン産】産地価格の高止まりとフレート価格差から、中国はもちろん、韓国・日本向けについても徐々にカリフォルニア産へシフトしていると伝えられている。UAE向けについては、これまで通り安定した出荷が続いており、追加の引合いもある模様。米国内酪農家からアルファルファの引合いが低調に推移すると予想される一方、トウモロコシや大豆、ジャガイモなどの作物の相場価格が安定していることから、13年産の作付面積は前年対比で3～5%減少することが予想されている。
	【カリフォルニア産】インペリアルバレーの3/15時点での作付面積は前年対比103%の133,736エーカー。産地では13年産の1番刈の収穫が終盤を迎えているが、水分が高く、輸出向けには適さないため、ほとんどが米国内向けとなる見込み。引合いも落ち着いていることから価格は弱含みで推移することが予想されるが、2番刈以降の中国・UAE向けの動きには注意が必要。
チモシー	【米国产】近年の順調な需要を受け、生産コストに対して高く売れており、産地では“儲かる”農産物として定着しており、13年産は作付面積が増えることが一部では予想される。今冬は産地での積雪量が少なかったため、生育が良くないことが一部で危惧されているが、13年産は雨当たり被害が少なく、作柄が良くなることが期待される。
	【カナダ産】ドライランド(中央アルバータ)では、13年産の作付面積は前年とほぼ変わらないと予想されている。レスブリッジ(南アルバータ)では、チモシーの他に穀類も作付されているため、穀類の相場価格によっても作付面積に変化があると考えられる。
スーダン	【インペリアルバレー産】デュラム小麦の相場価格が軟調に推移していることから、13年産早播きスーダンの作付面積は前年対比117%の17,864エーカーとなっており、「早播き」の基準となる4/15時点での作付面積の発表が注目される。しかし、ここ数年話題になっていなかったインペリアルバレーでの農業用水の使用制限について、実施強化が懸念され始めており、総作付面積450,000エーカーと言われるインペリアルバレーにおいて、灌漑局が実施する休耕地プログラムに前年対比631%の36,564エーカーもの圃場が登録されている。そのため、早播きについては、作付面積が増えても、早播きの2番刈や小麦収穫後に播種する遅播きの作付面積や生産量が減少することが予想されている。種子価格も昨年より落ち着いてはいるものの例年より高値で推移している。
クレイングラス	12年産は3/15時点で前年対比115%の16,270エーカーであり、近年の順調な需要を受けて、13年産は生産量が増えると予想されている。しかし、前述の通りインペリアルバレーでの農業用水の問題も懸念されており、注意が必要。また、主にテキサス州で生産されているクレイングラスの種子は、昨年・一昨年の干ばつの影響で在庫は不足気味で推移していると言われている。多年草のため13年産の作付面積に大きな影響はないと思われるが、14年産以降の作付面積の動向には注意が必要。
バミューダ	作付面積は3/15時点で前年対比102%の50,135エーカーであり、13年産バミューダ(特にストロー)は生産量が増えることが予想されているが、インペリアルバレーでの農業用水の問題も懸念されており、作付面積は減ることも予想されている。種子価格は、引き続き高値で推移している。
ストロー類	フェスキューストロー、ライグラス(ペレニアル種)ストローは、ともに11年産の在庫がなく、自給飼料不足の影響で韓国からの引合いも強くなっているため、12年産もストロー類は引き続きタイトに推移しており、産地価格はこれまでにないほど高値となっている。生産農家はストロー類よりも種子を売ることには注力しており、13年産は作付面積が5%程度減少することが予想されている。また、中国で口蹄疫が発生したことにより、中国産稲ワラの輸入手続きが一時保留となっていたが、3/12付けで、日本の港で保留されているものは条件付き(ホルマリンくん蒸消毒をしたもの、産地側で新たに加熱処理されたものは輸入条件に追加条件を設定し、これを満たす施設で加熱処理されたものに限る)で輸入検査証明書が発行されることとなった。一時保留でなくなったものの、12年産の米国ストロー類の産地在庫はほぼ売切れ(成約済み)となっており、大きな価格値下げの要因とはならない見込み。
オーツヘイ	西、南、東の全ての輸出向け産地で、ハイグレード品がほとんどで中間・ローグレードの発生量が少なく、雨当たり被害を酷く受けた11年産と真逆の作柄となった。単収は例年よりも20～25%程度減少しているため、全体の生産量も昨年より減少していると見込まれている。
豪州産小麦 (ウィート) ストロー	中国稲ワラの輸入が一時保留の状態ではなくなったものの、12年産は発生量が少なかったため、産地在庫はほぼ売切れ(成約済み)となっている。急激な需要増を背景に、産地価格は以前より高騰して推移している。

生乳受託販売乳量

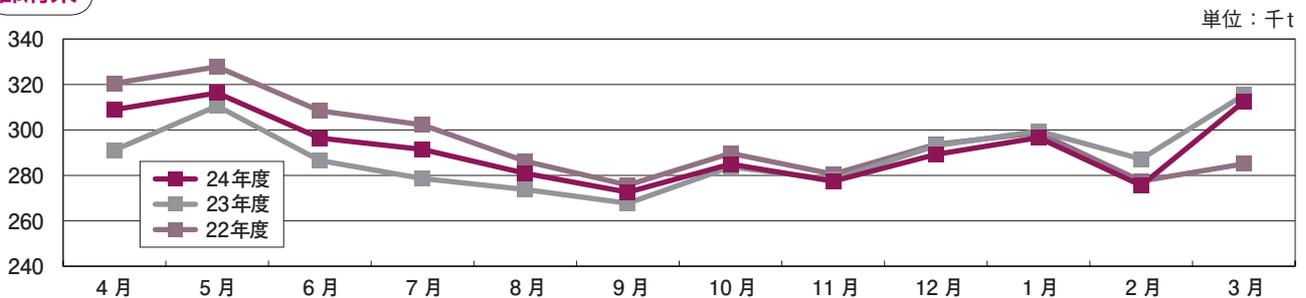
受託販売乳量

全国	641,261t	で、前年同月に比べ	457t(0.1%)	増加した。	都府県	312,463t	で、前年同月に比べ	2,917t(0.9%)	減少した。
北海道	328,797t	で、前年同月に比べ	3,374t(1.0%)	増加した。					

北海道

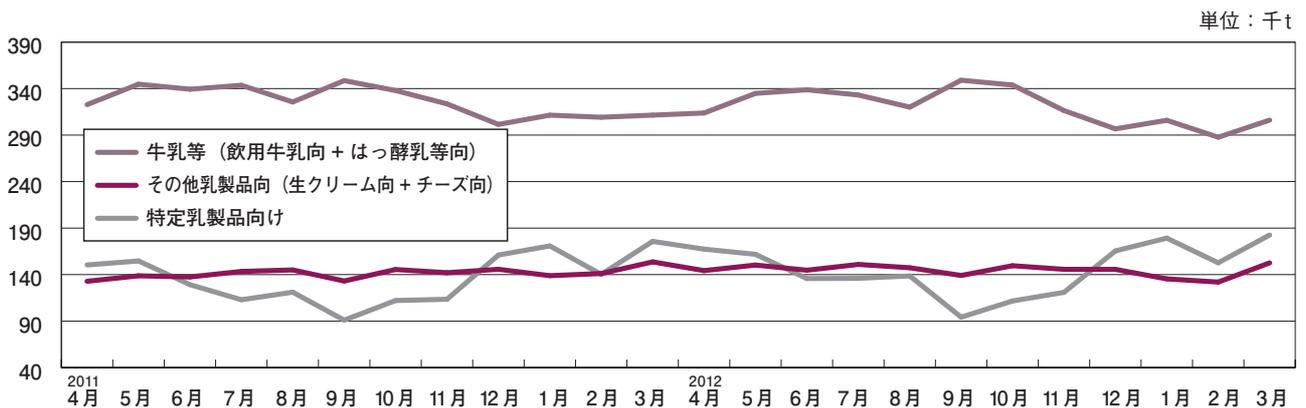


都府県



用途別販売数量

飲用向	263,511t	で、前年同月に比べ	4,405t(1.6%)	減少した。	チーズ向	39,053t	で、前年同月に比べ	6,516t(14.3%)	減少した。
はっ酵乳向	42,587t	で、前年同月に比べ	949t(2.2%)	減少した。	特定乳製品向	182,551t	で、前年同月に比べ	6,843t(3.9%)	増加した。
クリーム向	113,556t	で、前年同月に比べ	5,484t(5.1%)	増加した。					



各地の需給動向

*前年比については、閏年修正を行っておりませんのでご注意ください。

- 【東北】3月生産は前年比98.9%。当初見込みの98.3%より上振れしたが、飲用向の需要は低迷（前年比95.3%）し、特定乳製品向販売量が増加（105.3%）した。
- 【関東】3月に入り、日量は増加傾向。全体では前年比99.4%となった。2月の飲用牛乳等の販売低迷を引きずり（98.9%）、その結果特定乳製品向販売量が増加（108.6%）した。
- 【東海】3月生産は2月下旬から見て微増傾向（前年比98.3%）。
- 【近畿、中国、四国】生産は2月のトレンド並（近畿94.4%、中国100.4%、四国97.8%）。需要については2月の飲用低迷を引きずり、全体的に不調（飲用向：近畿93.9%、中国102.3%、四国99.9%）で、当初設定した低めの計画並み、もしくはそこからの若干増となった。
- 【九州】生産は堅調を維持し、前年比100.5%。販売は、2月の飲用不振を引きずった状態からのスタートとなったが、3月は堅調に推移し飲用向前年並み（100.3%）。特定乳製品向販売量も前年比100%となった。

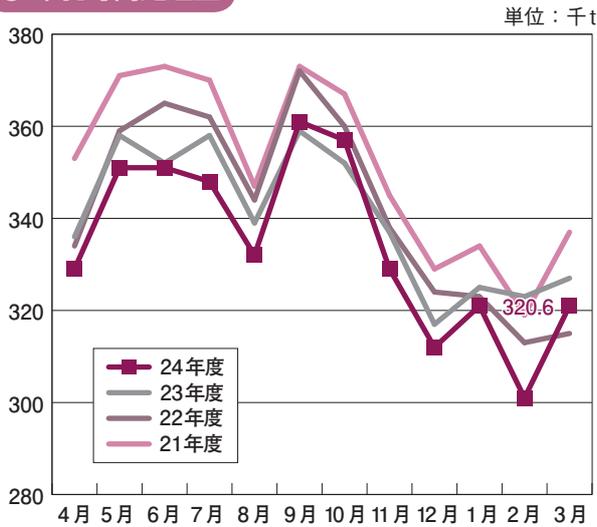
用途別生乳処理量

単位：千t

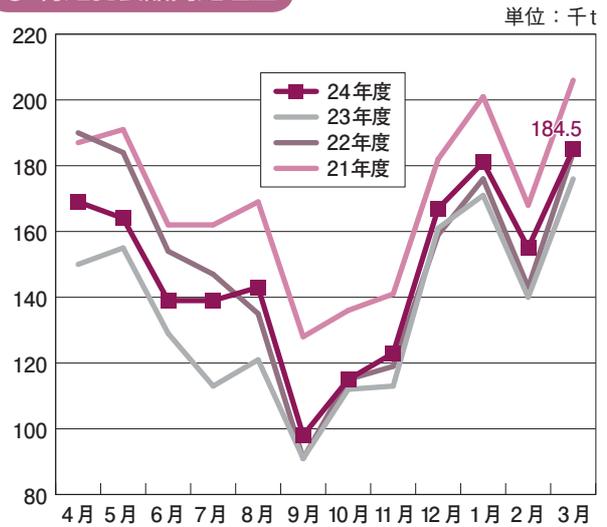
年月	生乳生産量	用途別処理量計							年月	生乳生産量	用途別処理量計						
		牛乳等向 ①	乳製品向			クリーム向 ③	チーズ向 ④	牛乳等向 ①			乳製品向			クリーム向 ③	チーズ向 ④		
			特定乳製品向 ②	その他乳製品向							特定乳製品向 ②	その他乳製品向					
2011. 4月	629	623	336	288	150	137	99	38	2012. 4月	649	645	329	316	169	147	106	42
5月	662	656	358	298	155	143	103	41	5月	671	667	351	316	164	152	108	45
6月	629	623	352	271	129	142	103	39	6月	642	637	351	286	139	147	106	41
7月	624	618	358	261	113	148	110	38	7月	644	639	348	291	139	153	111	42
8月	615	609	339	270	121	149	111	38	8月	630	625	332	293	143	149	107	43
9月	594	589	359	229	91	138	108	30	9月	604	599	361	238	98	140	106	34
10月	620	614	352	262	112	150	114	36	10月	628	623	357	266	115	151	111	40
11月	602	597	337	261	113	147	111	36	11月	605	600	329	271	123	147	109	39
12月	633	628	317	311	161	150	112	38	12月	632	627	312	315	167	148	108	40
2012. 1月	646	641	325	316	171	145	101	43	2013. 1月	644	639	321	319	181	138	96	42
2月	614	609	323	286	140	146	103	43	2月	595	590	301	289	155	134	96	38
3月	666	661	327	335	176	159	113	46	3月	664	660	321	339	185	155	113	41
年度計	7,534	7,470	4,083	3,387	1,632	1,755	1,288	467	年度計	7,608	7,550	4,012	3,538	1,777	1,761	1,276	485

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

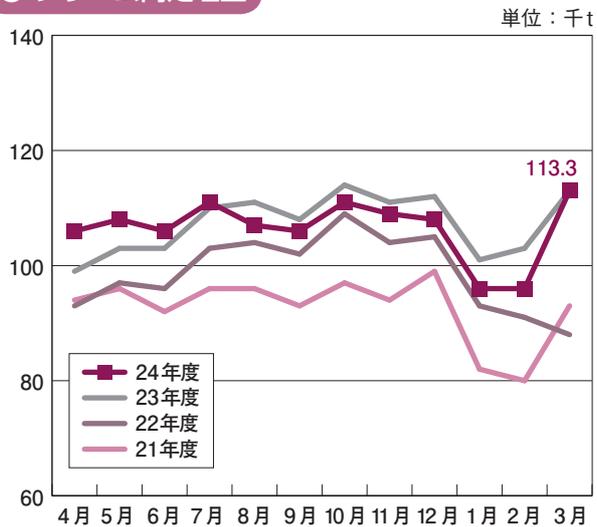
① 牛乳等向処理量



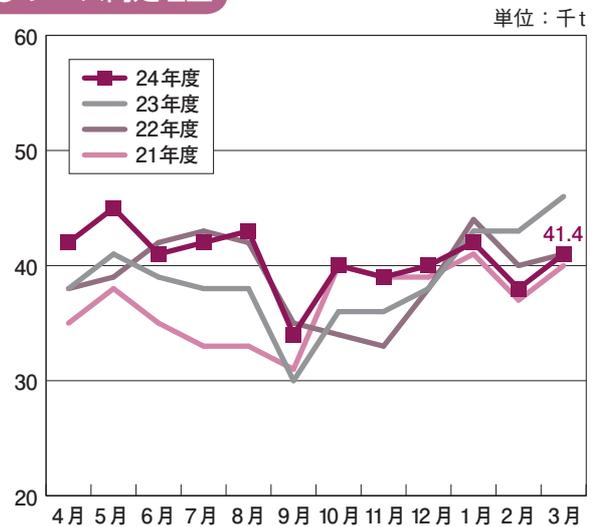
② 特定乳製品向処理量



③ クリーム向処理量



④ チーズ向処理量



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

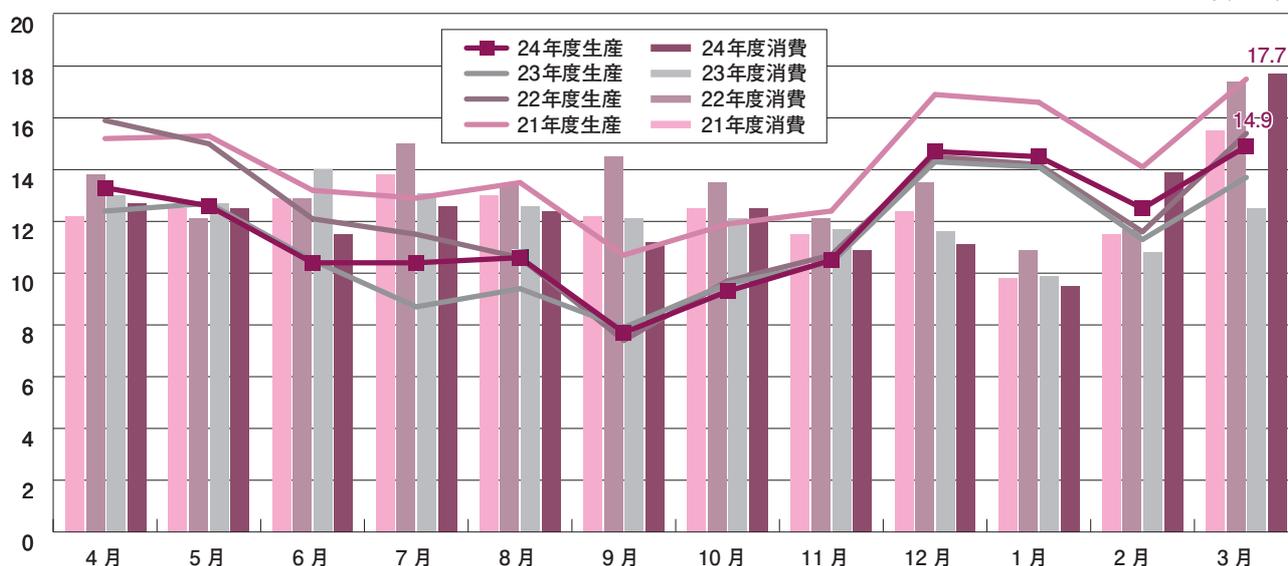
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2011. 4月	12.4	7.8	5.7	5.7	2012. 4月	13.3	12.7	6.7	6.4
5月	12.7	5.8	5.9	7.0	5月	12.6	12.5	6.5	6.4
6月	10.5	6.0	5.0	7.7	6月	10.4	11.5	5.5	6.8
7月	8.7	6.7	4.3	6.9	7月	10.4	12.6	5.4	6.2
8月	9.4	6.4	4.5	6.9	8月	10.6	12.4	5.6	6.0
9月	7.9	6.6	3.5	6.8	9月	7.7	11.2	3.7	5.8
10月	9.6	7.2	4.2	6.3	10月	9.3	12.5	4.3	5.6
11月	10.4	7.7	4.2	5.6	11月	10.5	10.9	4.8	5.7
12月	14.3	9.2	5.8	6.0	12月	14.7	11.1	6.2	7.8
2012. 1月	14.1	5.7	7.0	6.4	2013. 1月	14.5	9.5	7.6	4.8
2月	11.3	7.0	5.7	6.0	2月	12.5	13.9	6.3	6.5
3月	13.7	7.7	7.4	7.9	3月	14.9	17.7	7.4	8.7
年度計	134.9	83.8	63.1	79.2	年度計	141.4	148.5	70.1	76.7

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

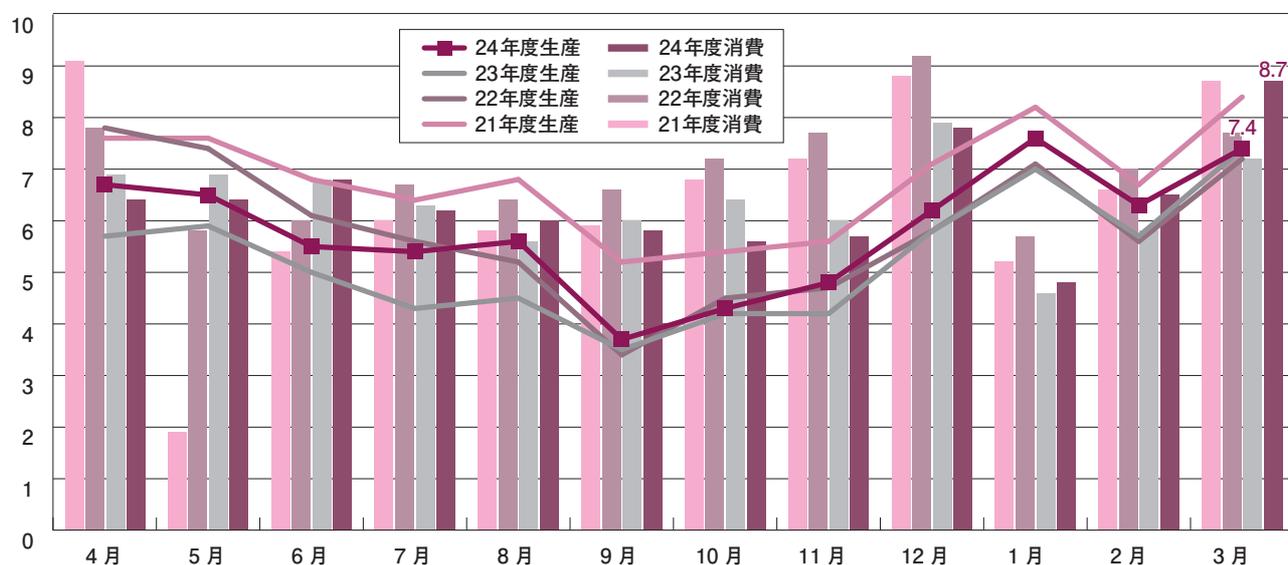
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t



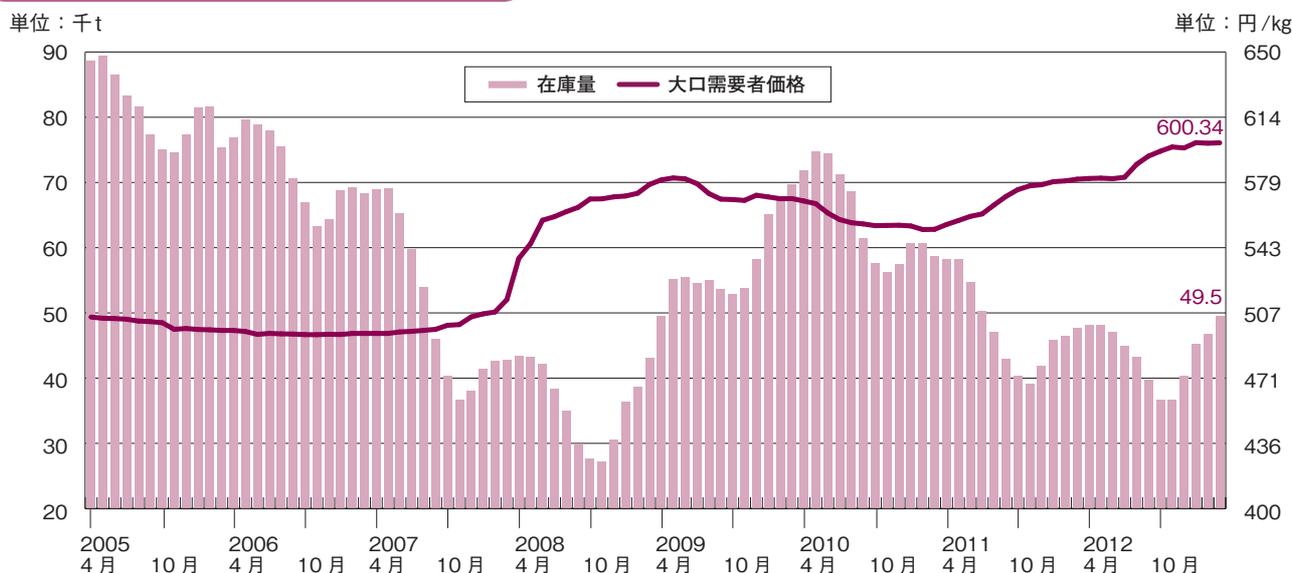
脱脂粉乳・バター国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

区分	バター		脱脂粉乳		区分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2011. 4月	19.3	1,018.1	58.2	555.58	2012. 4月	19.4	1,116	48.2	580.80
5月	20.6	1,025.7	58.2	557.75	5月	21.5	1,123	48.2	580.99
6月	21.2	1,035.2	54.7	560.04	6月	21.5	1,132	47.1	580.69
7月	21.0	1,041.9	50.3	561.37	7月	21.5	1,135	44.9	581.49
8月	21.0	1,057.1	47.1	566.25	8月	23.2	1,146	43.2	588.53
9月	20.3	1,066.7	42.9	570.93	9月	22.4	1,154	39.7	593.03
10月	19.7	1,075.2	40.4	574.67	10月	21.3	1,155	36.7	595.73
11月	18.6	1,079.0	39.1	576.76	11月	20.5	1,159	36.6	598.06
12月	16.5	1,083.8	41.8	577.37	12月	19.0	1,161	40.3	597.52
2012. 1月	18.9	1,085.7	45.9	579.05	2013. 1月	21.9	1,166	45.3	600.42
2月	18.9	1,087.6	46.4	579.47	2月	22.2	1,174	46.7	600.11
3月	19.1	1,102.9	47.6	580.42	3月	23.5	1,174.3	49.5	600.34

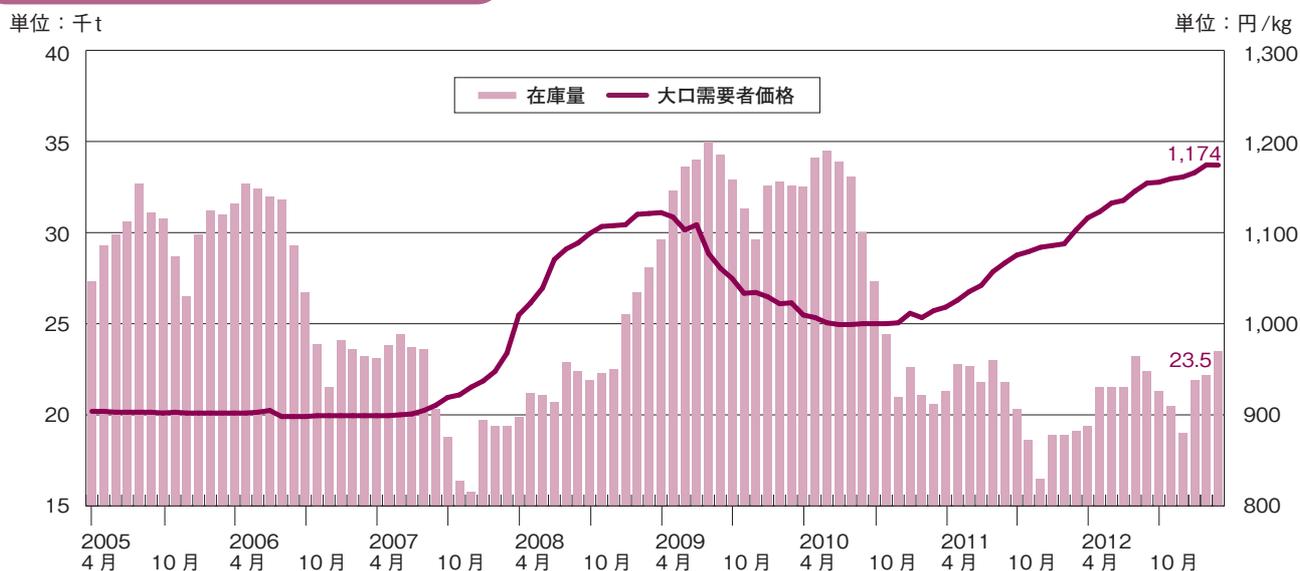
資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

※単価は税抜き

脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移



バター 国内在庫・大口需要者価格推移



酪政連活動報告

平成 25 年 2 月～ 25 年 4 月

日本酪農政治連盟

2/19	TPP 交渉参加の即時撤回を求める会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP に関する決議事項の確認 ◆ 日米首脳会談に向けての再確認と総理への要請案(幹部一任) 	3/13	要請活動(委員長、幹事長ほか) <ul style="list-style-type: none"> ◆ 西川公也氏、森山裕氏、小里泰弘氏、野村哲郎氏、葉梨康弘氏に面談要請 <p>▶ 3月13日 安倍首相事務室 訪問 西山秘書へ TPP交渉参加反 対要請書提出</p> 
2/20	TPP を慎重に考える会 (幹事長) <ul style="list-style-type: none"> ◆ ISD 条項に関する研修会 	3/15	安倍首相が「TPP 交渉参加」を表明
2/21	内部監査会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 24 年度決算等に係る監査 	3/17	自由民主党大会
2/26	TPP 交渉参加の即時撤回を求める会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日米首脳会談の結果のヒアリング ◆ 意見交換 	3/21	自由民主党農林部会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 24 年度食料・農業・農村白書、森林・林業白書案の説明
2/26	酪政連東北ブロック協議会総会 (幹事長)	3/21	農林水産戦略調査会、農林水産防疫対策委員会、農林部会合同会議 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 第 16 回 TPP 交渉会議の報告、TPP 影響試算について
3/1	九州酪政連協議会会長・委員長会議 (幹事長)	3/22	TPP 交渉参加の即時撤回を求める会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 名称を「TPP 交渉における国益を守り抜く会」に改称 ◆ TPP 交渉の状況及び政府統一試算、今後の取組方向の件
3/1	TPP を慎重に考える会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 韓米 FTA 発効 1 年を語る(韓国弁護士ソンギホ氏) 	3/27	自由民主党農林部会農政勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 畜産酪農対策について役所よりヒアリング、意見交換
3/1	TPP を考える国民会議緊急集会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 役員改選について(代表世話人に原中前医師会会長、副代表に孫崎亨が追加ほか) ◆ TPP を検証し、進路を誤ることなく、国益と民益を守るための緊急アピールを決議 	3/29	東京都選挙管理委員会へ平成 24 年度収支報告書を提出
3/6	三役会議 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 通常総会、TPP 参加断固反対緊急畜産集会の件 	4/8	TPP を考える国民会議拡大世話人会、意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今後の地方での反対集会、訪米、国際会議、1,000 万人署名に関する意見交換
3/6	通常総会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 谷津義男顧問、山田正彦氏が来賓挨拶 ◆ 議事については質疑なくすべて承認された。 	4/9	事業説明会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 酪農生産基盤回復緊急支援事業、加工原料乳確保緊急対策事業について
3/6	国益を守れない TPP 交渉断固反対緊急畜産集会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本の畜産ネットワーク主催 ◆ 国会議員は本人 7 人出席、幹事団体幹部は林大臣へ面談要請 	3/12	国益を守れない TPP 交渉断固反対緊急全国集会 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 全中ほか共催、4,000 人大会で 180 人の国会議員の出席 ◆ 畜産ネットワークとして、大会、デモ行進に参加  <p>3月12日 デモ行進</p>

ほ乳期子牛育成用

ニューメイクスター

出生→90日齢

Wow!!!

子牛のヨロコブ原料を特に厳選!

嗜好性をグッと高めました!

適正なタンパク濃度(CP18%)

バイパスタパク(ソイプラス)高配合



保証成分値

粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カルシウム	リン	TDN
18%以上	2%以上	8%以下	8%以下	0.6%以上	0.4%以上	72%以上



Your Partner 全酪連

購買部 03(5931)8007

札幌支所 011(241)0765
釧路事務所 0154(52)1232
帯広事務所 0155(37)6051
道北事務所 01654(2)2368

仙台支所 022(221)5381
北東北事務所 019(688)7143
東京支所 03(5931)8011
北関東事務所 027(310)7676

栃木駐在員事務所 028(689)2871
名古屋支所 052(771)7104
大阪支所 06(6305)4196
中四国事務所 086(231)1120

近畿駐在員事務所 0794(62)5441
三次駐在員事務所 0824(68)2133
福岡支所 092(431)8111
南九州事務所 0986(62)0006

北海道 乳牛産地情報

平成25年5月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	32~35	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で102.6%、苫小牧管内月計で97.1%の実績となっております。5月の初妊牛動向は、分娩時期により価格差は大きくなると思われませんが、平均価格としては弱含みになると予想されます。また、育成牛と経産牛につきましては、横這いで取引されるものと思われま
	初妊牛	52~57	↓	
	経産牛	40~45	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	32~36	⇩	4月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.5%、中標津管内月計で101.2%の実績となっております。5月の動向ですが、7月分娩牛中心となり、通常であれば価格も下げ傾向となりますが、メガファームの動向如何によっては、F1腹を中心に通常の夏分娩牛価格よりは、やや高値で動く可能性があります。
	初妊牛	52~57	⇩	
	経産牛	40~48	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	29~34	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計101.4%の実績となっております。5月の初妊牛動向につきましては、春産みの需要も落ち着き、7月~8月上旬腹が中心となり、価格も落ち着きを取り戻すことが予想されます。腹の内容としては、F1腹の需要が高く、ホル腹の需要が低い状態が続くものと思われま
	初妊牛	52~57	↓	
	経産牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30~35	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で102.9%、北見管内月計で101.6%の実績となっております。5月の初妊牛の動きにつきましては、6月分娩の需要も落ち着き、7月腹中心の夏産みで需要も少なく、各農協からの情報によりますと、夏産みは資源が豊富とのことから価格も軟調傾向が予想されま
	初妊牛	50~55	⇩	
	経産牛	40~45	⇩	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~35	→	道内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、月計101.5%の実績となっております。5月の初妊牛動向ですが、7月分娩腹中心となることから全体的には価格は下がると予想されます。しかし、7月上旬腹までは需要も旺盛のため、分娩時期によっては価格が高値で推移する可能性もあります。育成牛については、資源も少なく、需要も旺盛なため高値安定で推移すると思われま
	初妊牛	52~57	⇩	
	経産牛	42~47	⇩	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

(奥の牛から) ちょっと待ってよ 忘れ物だよ~

今月の表紙は、「第3回酪農いきいきフォトコンテスト」(第41回全国発表大会にて開催)に応募いただいた作品「(奥の牛から) ちょっと待ってよ 忘れ物だよ~」(岐阜県 中谷 昇氏 撮影)です。奥の牛の顔の出し方、そして女の子の可愛い笑顔が印象的な作品です。



shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

▼5月は子供の日と母の日があります。日頃、恥ずかしくて感謝を伝えられない方へ感謝を伝える良い機会となると良いですね。
 ▼会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです

編集後記



平成25年5月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 5月号 No.572

●編集・発行人 中島 裕志郎

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003

http://www.zenrakuren.or.jp/



今月の



入賞作品介绍

牛さんだあいすき!

ゆがわ幼稚園(東北)4歳 渡部 快麻



今月の入選作品は、ゆがわ幼稚園(東北)4歳の渡部 快麻くんの「牛さんだあいすき!」です。

青い色紙に元気いっぱい牛さんが描かれた魅力ある作品です。力強いタッチで牛さんの動きや存在感が表現されています。様々な画材を使って表現できています。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第39回らくのうこどもギャラリー」で全国461点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議

第42回

主催

全国酪農青年女性会議 / 全国酪農業協同組合連合会

全国酪農青年女性 酪農発表大会

in 熊本



©2010 kumamoto pref. kumamon#7822

平成25年

7.11 木 ▶ 12 金

日程

7月11日

- 13:00~13:55 開会式
- 14:00~16:15 酪農経営発表
- 16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
- 16:40~18:15 酪農意見・体験発表
- 19:00~21:00 懇親会

7月12日

- 8:30~ 9:00 酪農経営発表質疑応答
- 9:00~ 9:30 酪農意見・体験発表質疑応答
- 9:45~11:10 審査講評・表彰式
- 11:10~11:30 閉会式

大会参加費

1名 13,000円 (大会・懇親会まで)

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場

[会場]

ホテル日航熊本

〒860-8536 熊本市中央区上通町2-1
TEL 096-211-1111



[宿泊]

ホテル日航熊本 又は **熊本ホテルキャッスル**

- ホテル日航熊本
〒860-8536 熊本市中央区上通町2-1 TEL 096-211-1111
- 熊本ホテルキャッスル
〒860-8565 熊本市中央区城東町4-2 TEL 096-326-3311



◀ アクセス

- 熊本空港(阿蘇くまもと)より車で約40分
- JR鹿兒島本線「熊本駅」から市電通町筋駅、下車。徒歩約1分。
- 九州自動車道 熊本ICより約30分